

記者発表(資料配付)				
月/日 (曜)	担当課室名 班名	TEL	発表者名 (担当班長名)	その他の 配布先
8/17 (火)	農政環境部 農政企画局 総合農政課 農林水産政策班	078-362-9216 (内線4073)	課長 宮島 康彦 (磯崎 博隆)	—

アグリビジネス創出支援プロジェクト5件を決定

～農林漁業者と異業種との連携により県産農林水産物の新たな価値を創出～

本県の農林水産業の活性化や持続的な発展に向け、農林水産業者や食関連企業等多様な分野の事業者が連携し、県産農林水産物を活用した創造的な新商品や新サービス等の創出に取り組むアグリビジネスのスタートアップを支援する「アグリビジネス創出支援事業」を実施します。

このたび、当事業に取り組むプロジェクトを公募したところ11件の応募があり、下記のとおり今年度の支援対象として5件のプロジェクトを採択しました。

記

1 採択したプロジェクト(5件)

	プロジェクト名	代表機関
①	高酵素アミノ酸堆肥による高収益型栽培法の確立と機能性を引き出す食品開発	(株) 藤橋商店
②	特選牡蠣の高付加価値化に向けた加工品の開発	(株) みつヴィレッジ
③	地元素材を利用した自家製養魚飼料による森林サーモンの生産効率向上と高付加価値化	(一社) 遊ファーム
④	丹波黒大豆の高ポリフェノール含有に着目した簡易摂取型食品の開発	(株) 小田垣商店
⑤	デジタル技術で消費者ニーズを反映した冷凍里芋の商品化。兵庫の里芋を全国展開!	(株) 元源

※各プロジェクトの詳細は別紙のとおり

2 応募の概要

(1)対象となるプロジェクト

県産農林水産物を活用して新たなアグリビジネスを生み出すプロジェクト

(2)応募数 11件

(3)公募期間 令和3年4月7日(水)～令和3年5月14日(金)

3 参考

(1)目的

本県農林水産業の活性化や発展を図るため、異業種連携によって生み出される新商品・新サービス等の新たなアグリビジネスを創出する取組を支援する。

(2)補助額・補助率

300万円以内 定額

(3)補助期間

原則1年間(最大2年間)

令和3年度アグリビジネス創出支援事業採択プロジェクト

プロジェクト名	共同チーム (○:農林漁業者)	プロジェクトの概要
高酵素アミノ酸堆肥による高収益型栽培法の確立と機能性を引き出す食品開発	代表機関: (株)藤橋商店 構成員: ○(有)村上ポーター(姫路市) 島根大学 壺阪酒造(株) 姫路商工会議所 日本パッションフルーツ協会	亜熱帯果樹であるパッションフルーツを高酵素アミノ酸堆肥である発酵鶏糞を使用したハウス栽培による有機栽培を含めた高収益型栽培法を確立し、耕作放棄地の有効活用と地元の新たな特産品として栽培法を確立する。 また、ほとんど利用されない果皮や種子の機能性分析をし、リキュール、スイーツ等の試作品開発を行う。そのアンケート結果を元に、さらに改良を加え新たな高付加価値のついた地元の新たな名産品として全国へ発信する。
特選牡蠣の高付加価値化に向けた加工品の開発	代表機関: (株)みつヴィレッジ 構成員: ○柴田水産(たつの市) (有)市場印刷	儲かる(持続可能な)牡蠣の養殖ビジネスを展開していくにあたり、売上の公式である「生産量」×「販売単価」に対し、平均販売単価を高める取り組みは、経営の安定化の観点からも重要である。その1つとして、生で販売できなかった牡蠣の高付加価値を取り上げ、日持ちのする商品の開発に取り組み通年販売を展開する。またそれらを使ったレシピ提案なども行うことで商品のPRを強化していく。
地元素材を利用した自家製養魚飼料による森林サーモンの生産効率向上と高付加価値化	代表機関: ○(一社)遊ファーム(宍粟市) 構成員: (一社)北の風・南の雲 (株)クラモト 神姫バス(株)	淡水養殖によるサーモンは、薬用植物であるドクダミの給餌によって生育率が向上し、食味が改善される。そこで本プロジェクトでは、養魚飼料を自家製化することで生産コストを低減させ、健康かつ優れた食味のサーモンの量産体制を構築する。また、ドクダミの健康機能性を活かしたブランディングを進める。地場産業の副産物を主成分とする養魚飼料を開発、地元企業との協働で販売ネットワークを構築し、域内連携の活性化を目指す。
丹波黒大豆の高ポリフェノール含有に着目した簡易摂取型食品の開発	代表機関: (株)小田垣商店 構成員: ○(農)丹波たぶち農場(丹波篠山市) ○(株)アグリヘルシーファーム(丹波篠山市) ○(株)ツムファーム(丹波篠山市) 神戸大学大学院医学研究科 神戸大学大学院農学研究科	兵庫県が誇る丹波黒大豆を使用し、黒大豆ポリフェノール等の機能性成分を多分に含む画期的なプロテイン商品を開発する。また同時に健康効果の科学的検証による高付加価値化と、黒大豆栽培の省力化・大規模化に向けた栽培実証を行い、消費と生産を飛躍的に拡大し、生産者所得の向上と次世代への黒大豆栽培の伝承を図る。 このような取組みを有機的に繋げ、循環させることにより、継続的な地域経済の活性化、雇用維持拡大に繋げる。
デジタル技術で消費者ニーズを反映した冷凍里芋の商品化。兵庫の里芋を全国展開!	代表機関: ○(株)元源(加西市) 構成員: 加西農業改良普及センター (株)はじまりビジネスパートナーズ 岐阜大学	共同チームが連携して、新たに導入する冷凍里芋製造工場の設備を活用した商品開発を実施する。はじまりのスマートストアで取れるPOSやAIカメラで取れる消費者の購買行動分析を基に、消費地の顧客の反応を分析してよりニーズに沿った全国で通用する商品にブラッシュアップをする。 冷凍里芋製造工程において、前処理技術が重要な工程であると考え、販売先、各調理法に最も適した各前処理工程を研究・確立・マニュアル化する事により、冷凍変性のない高品質な冷凍里芋の製造及び販売チャンネルの多様化を目指す。

※農林漁業者のみ市町名を記載